

インフォメイトしよ

▶ 特集：整形外科のご紹介 ～骨粗しょう症による脆弱性骨折～

▷▷ Topics 01：新型コロナウイルス感染症対応等について

2021.February
Vol. **28**

- 〈理念〉
一人ひとりの命と健康を守り、医療の質の向上に努め、熱意と誇りを持って地域社会に貢献することを目指します
- 〈方針〉
- 1 地域医療支援病院として地域連携を推進します
 - 2 科学的根拠に基づいた医療を提供します
 - 3 急性期病院として高度専門医療、救急医療を実践します
 - 4 がん拠点病院としてがんの予防から治療までを担います
 - 5 信頼される優れた医療人を育成します
 - 6 健全な病院経営に努めます



ロコモ対策で骨折予防!!

詳しくはこちらをご覧ください
(ロコモ ONLINEへ) →



ロコモとは？

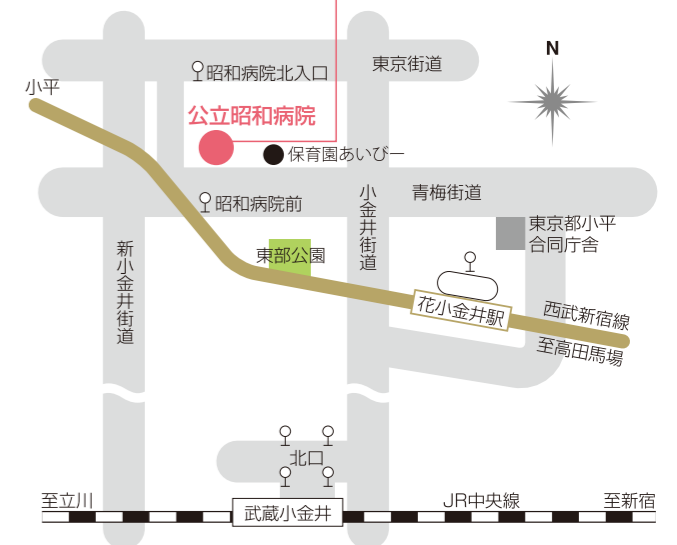
運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態を「ロコモティブシンドローム」=ロコモといいます。ロコモティブシンドロームとは、英語で移動することを表す「ロコモーション (locomotion)」、移動するための能力があることを表す「ロコモティブ (locomotive)」からつくった言葉で、移動するための能力が不足したり、衰えたりした状態を指します。ロコモとはその略称です。

(ロコモチャレンジ! 推進協議会 公式HP「ロコモ ONLINE」より抜粋)



交通案内

- 西武新宿線「花小金井」駅 北口下車
- 立川バス『寺51』昭和病院行き乗車8分「昭和病院」下車
立川バス『寺56』大沼団地行き乗車8分「昭和病院前」下車
- JR中央線「武蔵小金井」駅 北口下車
- 西武バス『武21』錦城高校経由東久留米駅西口行き乗車20分
「昭和病院北入口」下車徒歩5分
- JR中央線「国分寺」駅 北口下車
- 立川バス『寺51』昭和病院行き乗車30分「昭和病院」下車
立川バス『寺56』大沼団地行き乗車30分「昭和病院前」下車
- 西武池袋線「東久留米」駅 西口下車
- 西武バス『武21』西団地経由武蔵小金井駅行き乗車20分
「昭和病院北入口」下車
- 西武新宿線「小平」駅
- 北口下車小平市コミュニティタクシー(ぶるべー号)
大沼ルート乗車15分「昭和病院」にて下車
- 南口下車西武バス『武17』昭和病院経由
武蔵小金井駅行き乗車10分「昭和病院」下車
- 都営バス『梅70』青梅車庫前～花小金井駅北口「昭和病院前」下車



公立昭和病院

【発行】公立昭和病院
【編集】広報委員会

〒187-8510 東京都小平市花小金井8-1-1 www.kouritu-showa.jp
Tel: 042-461-0052 (予約専用ダイヤル: 042-461-4896) Fax: 042-464-7912





整形外科のご紹介

整形外科について

整形外科は運動器の疾患を扱う診療科です。身体の芯になる骨・関節などの骨格系とそれを取り囲む筋肉やそれらを支配する神経系からなる「運動器」の機能的改善を重要視して治療する外科で、背骨と骨盤というからだの土台骨と、四肢を主な治療対象にしています。

(公益社団法人 日本整形外科学会HPより抜粋)

当院の整形外科について

当院は北多摩地区唯一の三次救急病院、および高度急性期医療センターであるという特徴から、急性期外傷診療を主軸としながら、各医師の専門領域を活かした診療を行っています。日常生活、スポーツ、交通事故や労働災害などによる外傷に対し、迅速に対応し適切な医療を提供します。特に高齢者の大腿骨近位部骨折は、救急外来、手術室、麻酔科の協力のもと、できるだけ早く手術する体制を整えています。(特集参照)



2019年実績

手術件数		565
外傷	大腿骨近位部骨折(内固定術)	47
	大腿骨近位部骨折(人工骨頭手術)	49
	四肢外傷	296
	骨盤骨折	11
脊椎	頸椎	29
	胸椎	11
	腰椎	28
関節	人工股関節全置換術	13
	人工膝関節全置換術	4
	膝関節鏡手術	7
その他		70
外来患者数		10,676
新患		2,260
再来		8,416
救急外来患者数		1,020
救急車		515
自力来院		505



整形外科 部長 李 小由
【専門分野】 膝関節外科 / スポーツ外傷

部長よりご挨拶

平成21年4月に着任し、令和2年4月より部長を拝命いたしました。新型コロナウイルス感染症拡大と背中合わせの新体制スタートでしたが、診療についての課題を見つめ直す良い機会となりました。チームワークが良く、フットワークが軽く、スピード感のある診療が当科の持ち味です。『必要な治療をより早くより適切に』提供できるように、整形外科の中にとどまらず、他科・他職種との連携強化に取り組んで参ります。



公立昭和病院 院長 上西 紀夫
(かみにし みちお)

新年のご挨拶

新しい年が明けましたが、市民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染症のことがあり、残念ながら「おめでとーございませう」とは言いにくい状況とございます。さて、今年の干支は「丑」です。辞書やインターネットなどで調べてみると、「丑」はご存知のごとく昔から田畑の開墾のために使われ、荷車を引っ張り、また牛乳を提供し、そしてその肉はステーキとして皆さんの食卓をにぎわすなど、辛抱強く私たちのために働いてきました。そのことから「丑」年は、辛抱強く我慢をし、誠実に暮らして次に備える年を意味しているとのこと。従って今年は、コロナ感染の影響下にある私たちに示唆を与えてくれる年のような気がします。

いずれにしても、この感染症を終息させるためには「3密」を可能な限り回避することが最も重要なことです。当院においては、院内感染を起こさないために、外来では体温チェックを行い、必要な方や入院される方には全員、PCR検査を施行しております。また、感染陽性の患者さんには、感染症病床や専用の病床に入院していただき、厳重な感染管理の下に最大限の治療を行っており、ほとんどの方が無事退院されています。ということで、安心して当院を受診していただきたいと思います。コロナ感染症に限らず、症状を我慢するとかえって重症になる場合もあります。症状が出た場合は、かかりつけの先生や当院にご相談ください。そして、最後には佳い年であったと言えるようにしたいと思います。市民の皆様のご健勝を、常にも増してお祈り申し上げます。

令和3年1月



特集

骨粗しょう症による脆弱性骨折



骨粗しょう症が原因で、日常生活程度の軽い負荷や、立った高さからの転倒などの軽い怪我で起こる骨折を脆弱性骨折といえます。主にものに背骨、脚の付け根、骨盤、手首や肩の付け根の骨折(図1)があります。特に背骨、脚の付け根、骨盤を骨折すると、当初は痛みのために体を起こすことや立つことが難しく、適切な治療を受けて骨折が治ったあとも、活動性が十分に戻らずに生活の質が低下しやすくなります。

骨粗しょう症で骨折しやすい部位



図1

脚の付け根の脆弱性骨折(大腿骨近位部骨折)

女性の5人に1人が受傷すると言われていて、超高齢社会の日本では今後も増加していくことが予想されます。この骨折をした人はほとんどの場合痛みのために身動きが取れなくなり、手術を行わないと歩けなくなり、歩行能力を回復させるためには、早い手術とリハビリテーションが不可欠です。海外では入院から36〜48時間以内に行う手術することを目標としている国が多いなか、日本国内の医療機関では手術までの待機期間が約4.2日と海外に比べ長くなっています。

【当院の対応例】

当院では、年間約100例近くの大腿骨近位部骨折の手術を行い、手術までの待機期間は約2.5日です。大腿骨近位部骨折の手術には、骨折の状態により骨接合術と人工骨頭手術の二通りの手術があります。骨接合術については、入院当日、もしくは翌日の手術を目標に、救急外来、麻酔科、手術室と協力し、入院後平均0.9日で手術を行っています(図2)。人工骨頭手術は平均6日の手術待機期間となっており、今後の課題と考えています。

大腿骨近位部骨折



【人工骨頭手術】

【骨接合術】

患者さんがなるべく早く日常生活を取り戻せるよう、看護師、リハビリテーション科、薬剤師、管理栄養士、メディカルソーシャルワーカーと密に連携を取りながら診療しています(図2)。必要に応じて、リハビリテーション病院など他の医療機関とも連携しています。

脆弱性骨折は連鎖する?!

全身の骨が脆くなっている(骨粗しょう症原因)と、軽い負荷や怪我で骨折(脆弱性骨折)結果してしまいます。脆弱性骨折を起こした方は、一度も脆弱性骨折を起こしていない方と比べて、次の骨折を起こす危険性が2〜10倍高くなると言われています。一度の骨折でも高齢者の活動性を低下させる脆弱性骨折がくり返し起こることで、介助や介護が必要になる可能性は一層高まり、体の衰えが加速します。

予防と治療が大切!!

脆弱性骨折を起こした人は、適切な骨折治療をより早く受けることが大切です。背骨、足の付け根、骨盤の骨折は「寝たきり」に繋がりがやすく、早期診断と安静・手術・リハビリテーションなどの総合的な治療でより早く体の機能を回復させることがとても大切です。また、脆弱性骨折を起こした人は、次の骨折を予防するために骨粗しょう症の治療が必要です。

脆弱性骨折を起こしていない人は、適切な生活習慣(食事、飲酒、禁煙)に加え、適度な運動を続けて転倒を予防すること、適切なタイミングで骨粗しょう症治療を開始することが、脆弱性骨折を起こさない健康な一生を過ごすことにつながります。

骨粗しょう症は高齢者だけの病気ではありません。骨密度は40〜50歳頃から下がり始めます。特に女性は閉経後に急速に下がるので、定期的に骨密度検査を受けて骨粗しょう症治療を開始する時期を見逃さないことが大切です。

骨粗しょう症の予防と治療

- 禁煙 (No Smoking)
- 日光浴 (Sunbathing)
- 服薬 (Medication)
- 食事 (Diet)
 - 【牛乳】(カルシウム)
 - 【魚】(ビタミンD・カルシウム)
 - 【納豆】(ビタミンK)
 - 【海藻】(ビタミンK)
- 運動 (Exercise)



大腿骨近位部骨折(骨接合術)の対応例

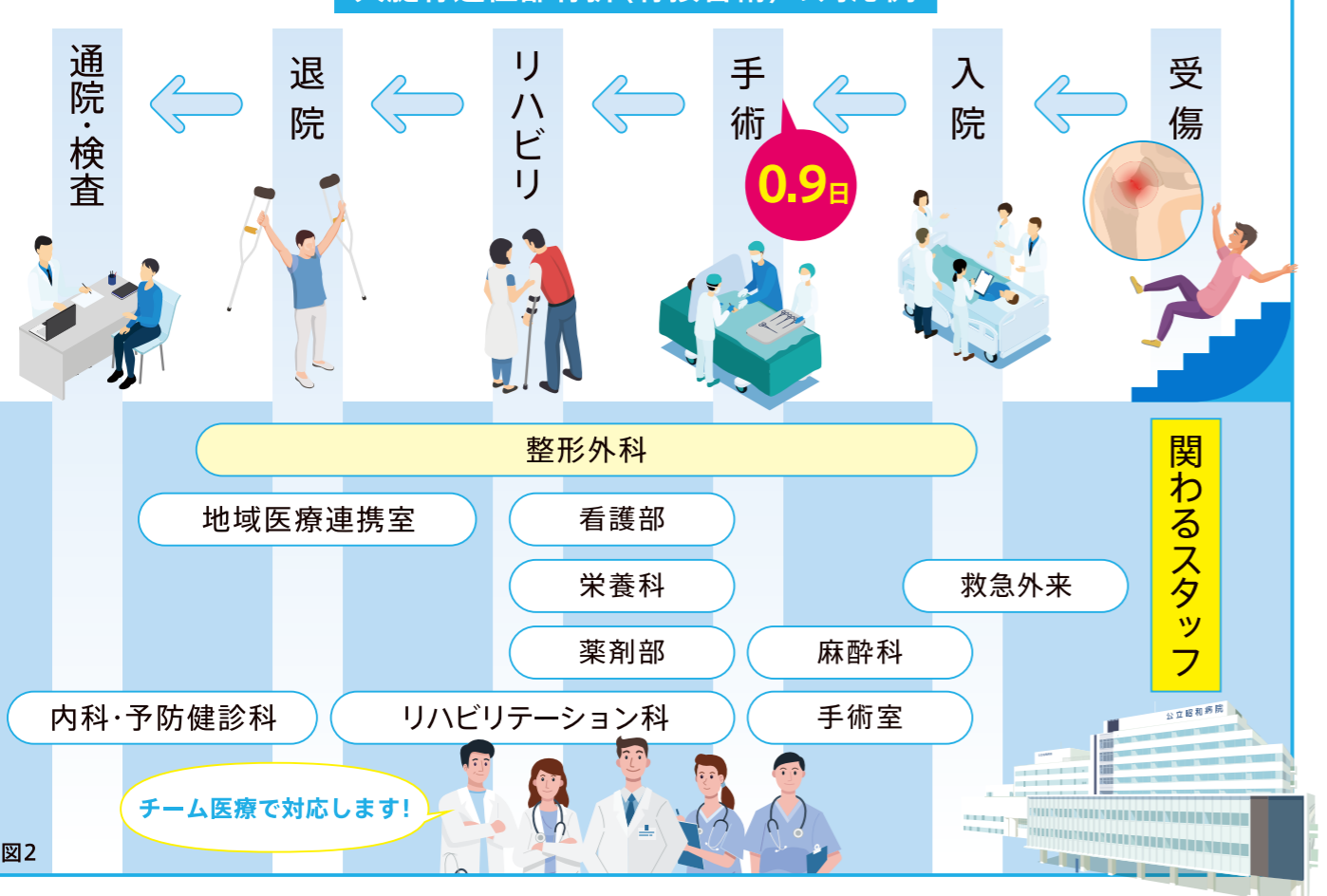


図2

新型コロナウイルス感染症対応等について

【安心して来院、入院いただくために】

〈入院患者さん全員にPCR検査を実施しています〉

新型コロナウイルス感染症には、発熱などの症状がない無症状かつ無自覚の感染もあります。当院には様々な病気で入院されている患者さんがおりますが、その方々が新型コロナウイルスに感染してしまうと通常よりも重症化するリスクが高くなります。まずは感染を未然に防ぐための感染対策をとること。院内感染対策が大切になります。そこで、全ての患者さんに安心して医療を受けていただけるよう、入院される患者さん全員に入院前PCR検査を受けていただいております。また、当院では感染対策として次のことをお願いしています。

- ① 受診患者さんの付添いで来院される方が発熱している場合は入館をご遠慮いただいております。
 - ② 当面的間、入院患者さんとのご面会を原則、禁止とさせていただきます。
- 患者さん、またはご家族の方々には、ご理解ご協力のほどお願いいたします。

〈医療崩壊を起こさないために〉

当院に入院している新型コロナウイルス感染症陽性者の方は中等症から重症であり、さらに高齢者の方が多いため、看護支援を多く必要とする患者さんが増えています。さらに重症なコロナ感染症の救急患者さんの増加により、通常診療の維持が困難になりつつあります。今後、これ以上重症の「コロナ」患者さんが増加し、三次救急を含めた救急患者さんが増加した場合は、心不全、脳卒中、がん患者さんなどの通常

の疾患の治療に支障をきたし、医療崩壊に繋がります。そのために皆さんにお願いすることは、夜に限らず不要不急の外出を控え、手洗い・マスク・咳エチケット等の感染対策をしっかり行い、まずは感染を未然に防ぐことです。また、発熱などの症状が出た場合は、早目にかかりつけ医を受診してください。早期に診断できれば治療により重症化の可能性は低くなります。



【当院が取り扱った本感染症の患者数】(11/1~1/15まで)

区分	11月	12月	1月 ^(※)
入院患者数	23	53	34
(再掲) 疑い症例入院数	3	6	5
(再掲) 陽性入院患者数	20	47	29

(※)1月は15日までの集計 入院患者の内訳(単位:人)

区分	11月	12月	1月 ^(※)
帰国者・接触者外来	377	484	280
(再掲) 発熱テント外来	187	229	180
PCR検査実施患者数	377	484	280
PCR陽性患者数	24	56	66

(※)1月は15日までの集計 発熱外来等患者の内訳(単位:人)

インフォメイトしようわ 電子版のご紹介

インフォメイトしようわ電子版の発行をはじめました！お手持ちのスマートフォンやタブレットなどから、病院内に設置のインフォメイトしようわ電子版カードからQRコードを読み取って、簡単にダウンロードできます。内容は気になるけど冊子を持ってると手がふさがって不便、荷物を増やしたくないという方にはオススメです！

電子版カードは1階受付前にありますのでご自由にお取りください。(順次設置場所を拡大予定)

※インフォメイトしようわ電子版カードで読めるのは最新号のみです。最新号が発行されると古い号のカードでは読めなくなり、また、バックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。



電子版「インフォメイトしようわ」がスマホで読める！

予防・健診センターのご紹介

当院の予防・健診センターは、健診施設機能評価の認定を受けている全国でも数少ない健診施設です。ホテルライクな空間で、リラクゼーションして人間ドックを受診していただけます。

当院では、人間ドック(1日ドック)をはじめとして、脳ドック、半日ドック、CTによる大腸検査など、専門の医師による質の高い健診を提供しております。



当院の人間ドックには、1日ドック、半日ドック、脳ドックの各種コースを用意しております。構成市(小金井市、小平市、東村山市、東久留米市、清瀬市、東大和市、西東京市)にお住まいの方には、期間限定(1月~5月まで)の特別なプランや、特定のオプション検査の料金が割引があります。この機会に是非ご利用ください。

1日ドックのコース(期間限定構成市住民1日ドックプランを除く)には、各種オプション検査を追加することも可能です。詳しくは予防健診センターまで、お問い合わせください。



基本料金

1日ドック 50,600円(税込)

[受診日] 毎週月曜~金曜日 ※オプション可

半日ドック 38,500円(税込)

[受診日] 毎週月曜~金曜日 午後

脳ドック 82,500円(税込)

[受診日] 第1・4木曜、第2・3水曜

土曜日1日ドック 61,600円(税込)

[受診日] 5月・8月・1月

土曜日半日ドック 40,700円(税込)

[受診日] 5月・8月・1月

CTによる大腸検査 31,900円(税込)

[受診日] 毎週水曜 午後

構成市住民対象プラン等

1月~5月までの期間限定構成市住民1日ドックプラン

1日ドック(基本50,600円)+胃カメラ(3,300円)+ピロリ菌抗体検査(880円)

※セットプランにより他のオプション検査は付けられません。

50,600円(税込)→46,200円(税込)

構成市住民半日ドックプラン ※オプション検査は付けられません。

38,500円(税込)→26,950円(税込)

構成市住民対象CTによる大腸検査

31,900円(税込)→22,330円(税込)

構成市:小金井市 小平市 東村山市 東久留米市 清瀬市 東大和市 西東京市

※構成市住民料金は、ご加入の健康保険組合等によっては、対象外となります。

健診についての予約・お問い合わせはこちら

Tel 042-466-1800 (予防・健診センター)

受付時間 平日9時~16時

※詳細はホームページでも確認いただけます。

